

合格者 各位

奈良先端科学技術大学院大学
教育支援課

5年一貫コースについて（通知）

本学では、専門領域に関する深い学識、豊かな創造力及び国際的視野を有する人材を育成するため、博士前期・後期課程の標準修業年限（5年）内で一貫した博士研究指導を行う5年一貫コースを設けています。

5年一貫コース学生には、副指導教員の増員による研究指導體制の拡充や前期課程2年次のTA（ティーチング・アシスタント）等による経済支援を優先的に行い、博士課程の在籍学生として研究に専念できる指導體制を整えます。

5年一貫コース選択を希望する方は、別紙「5年一貫コースについて」を確認し、指導（予定）教員の承認・署名を得た上で、入学後、提出期日までに「5年一貫コース選択表明書」を下記宛先へご提出ください。

記

提出期日：令和7年4月14日（月）13：30

（選択承認時期「入学後研究室配属前まで」に該当する支援を受けられます。）

※5年一貫コース選択表明書提出時期及び承認時期により支援内容が異なります。

※博士前期課程1年次の11月頃に改めて5年一貫コースの選択に係る案内を行いますので、その際に5年一貫コースを選択することも可能です。

※情報科学領域に所属する研究室では、5年一貫コースの選択承認は入学後に行うため、今回は受け付けませんので、希望者は入学後に領域事務室からの案内により申請してください。

[提出先及び問い合わせ先]

〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916 番地の 5

奈良先端科学技術大学院大学

教育支援課学務係

電話：0743-72-5932

E-mail：g-gakumu@ad.naist.jp

5年一貫コースについて

【概要】

博士前期・後期課程の標準修業年限（5年）内で一貫した博士研究指導（5年一貫コース）を行うことで、専門領域に関する深い学識、豊かな創造力及び国際的視野を有する人材の育成を行います。なお5年一貫コース学生には、研究指導体制の拡充や経済支援などを優先的に行い、博士課程の在籍学生として研究に専念できる指導体制を整えます。

【5年一貫コースの選択承認時期と支援内容】

5年一貫コース学生への支援内容は、選択承認時期により、下表の通り異なります。

| 5年一貫コースの 選択承認時期 | 支援内容 | | | | | |
|--------------------|-----------|-------------|-------------|-----------|-----------|------|
| | 入寮の 優遇 | 予約採用 奨学金 | 在学採用 奨学金 | 研究室 配属 | 副指導 増員 | 経済支援 |
| 入学前年12月まで | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 入学前（3月）まで | | | ★ | ★ | ★ | ★ |
| 入学後研究室 配属前まで | | | | ★ | ★ | ★ |
| 研究室決定後 （5月以後） | | | | | ★ | ★ |

入寮の優遇：学生宿舎への入居希望を優先^{※1}します。

奨学金：日本学生支援機構の奨学金が優先的に貸与されるよう推薦を行います。

研究室配属：志望する研究室へ優先的に配属（内定）します。

副指導増員：副指導教員は2人以上とします。

経済支援^{※2}：博士前期課程2年次から、TA/RA 給与による経済的支援^{※3}を受けられます。

※1：第1回・第2回入学者選抜試験成績優秀者（合格通知の際に案内）の優先入居数確定後に、5年一貫コース学生に優先入居枠を割り当てます（ただし、学生宿舎の空戸数によっては、ご希望に添えない可能性もあります）。

※2：文部科学省国費留学生奨学金などの奨学金受給者、授業料全額免除者は除く。

※3：4・5月はTA（ティーチング・アシスタント）として講義補助を担当し、6月以降はRA（リサーチ・アシスタント）として採用します。

【5年一貫コースの選択方法と承認の基準】

5年一貫コース希望学生は、配属希望研究室の教員と面談して承認^{※4}を得て、5年一貫コース選択表明書（様式）を教育支援課学務係に提出してください。その後、学内担当者が学力評価を行った上で、承認します。なお、学力評価基準は、下表の通り承認時期によって異なります。

※4：教員との面談の結果、希望する研究室の教員から承認を得られないことがあります。

情報科学領域に所属する研究室では、選択承認は入学後に行うため、入学前及び入学後研究室配属前までの申請は受け付けません。

| | |
|--------------------|---------------------------|
| 5年一貫コースの 選択承認時期 | 5年一貫コース担当責任者による承認基準 |
| 入学前まで | 入試成績で、合格者のうち上位30%以上を目安とする |
| 入学後、研究室決定前まで | 入学者のうち上位50%以上の成績を目安とする |
| 配属研究室の決定後 | 指導教員が認めた学生 |

【5年一貫コース学生の正式決定について】

5年一貫コースの正式決定は、博士前期課程1年次の11月～2月に主副指導教員(候補)による学力・意欲等の確認を経た上で行います。また、5年一貫コース学生を正式に決定する博士前期課程1年次の2月以降でも、博士後期課程への進学を希望する前期課程学生は、主指導教員の承認を得て申し出ることができます。その際は、その都度、学力・意欲等の確認を経て5年一貫コースに編入します。なお、修士論文とその審査方法は、原則、その他の学生と同様に行います。また、5年一貫コースの決定に際しては、下記①-③の確認事項を設けています。

なお、5年一貫コース学生に決定した場合でも、博士後期課程への進学は、別途実施する学内進学試験で合格する必要があります。

- ① 主副指導教員(候補)による評価結果により、コース選択を認めない場合がある。この場合は、該当学生に対して指導教員がその理由を十分に説明する。
- ② 正式決定後は、前期課程で就職活動を行っても、大学からの推薦は行わない。また、前期課程2年次の4月、5月にTAとしてM1の指導に当たる義務がある。
- ③ 5年一貫コースには企業等派遣の社会人学生は含めない。(経済的支援や、後期課程での長期の海外留学などへ対応するため)

【5年一貫コースの辞退に関する確認事項】

5年一貫コース学生には、優先的な学修支援を行いますが、学位取得までには様々な困難も伴います。目標変更ややむを得ない進路変更もありますので、5年一貫コースの辞退について、下記①-⑤の確認事項を設けています。5年一貫コースの選択を表明する前に確認してください。

- ① 学生は、主指導教員(候補)と協議のうえ、学生の意志によって5年一貫コースを辞退することができる。
- ② 5年一貫コースを辞退する場合、研究室配属希望本調査前には、優先的な研究室配属を辞退するものとする。
- ③ 主指導教員は、学生の学習・研究状況、中間報告の結果、あるいはTA/RAの勤務状況を常にチェックし、学位の取得が困難であると判断した時は、学生に辞退を勧告できる。
- ④ 5年一貫コースを辞退した場合は、その時点からの経済的支援は停止する。また、その場合において、学生宿舎に入居していたときは、遅くとも同コースを辞退した

日が属する年度末までに退去させるものとする。ただし、学生宿舎の入居時の選考許可基準に照らし、5年一貫コースの選択を表明しなかった場合においても学生宿舎に入居できていた学生に対しては、退去を求めないものとする。

- ⑤ 奨学金、学生宿舎、研究室配属、TA/RA による支援などの優遇処置を受けたあと辞退した場合、就職活動を行っても、大学からの推薦は行わない。

【選択表明書の提出先】

郵送する場合は、下記の宛先に送り、5年一貫コース選択表明書在中と朱書すること。

宛先：〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916-5

奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課学務係

【問い合わせ先】

申請手続きについて不明な点があれば、下記までご連絡ください。

奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課学務係

E-mail : g-gakumu@ad.naist.jp

電話 0743-72-5932